



題字は達増知事

令和8年9月号

発行所

一般社団法人 岩手県畜産協会

〒020-0605 滝沢市砂辺389番7

☎ 019-694-1300(代)

FAX 019-694-1305

U R L : <http://iwate.lin.gr.jp>E-Mail : info@iwate.lin.gr.jp

印刷 小松総合印刷



持続的な発展を目指す岩手の畜産

～収益力アップへ「攻めの一手」で次代を拓く～

岩手県農林水産部長 照井 富也

今般の令和8年度熊本地震及び令和8年8月千葉豪雨で犠牲になられた方々の御冥福をお祈りしますとともに、被害に遭われた皆様にお見舞い申し上げます。

さて、本県の畜産は、農業産出額の約6割を占める基幹産業であるとともに、牛乳や食肉の生産・加工・流通を通じて関連産業の雇用を支えるなど、地域経済に大きな役割を果たしています。

一方、飼料・生産資材価格の高止まり、生産者の高齢化や担い手不足、夏季高温の影響による生産性の低下など、畜産を取り巻く情勢が大きく変化する中、本県の畜産が、将来にわたり持続的に発展していくためには、生産基盤の維持・強化に加え、生産性と収益性を高める「攻めの一手」を積極的に講じていくことが重要です。

県では、国が昨年4月に公表した「酪農及び肉用牛生産の近代化を図るための基本方針」や、昨年7月に策定した「いわて農業生産強化ビジョン」に盛り込まれた施策の方向性と調和を図りながら、本年3月に「岩手県酪農・肉用牛生産近代化計画」を策定しました。飼養戸数・頭数が減少傾向にある中、1頭当たりの生乳生産量の向上や分娩間隔の短縮等による生産性の向上、生産費の多くを占める飼料費の低減に向け、本県の強みである豊富な飼料基

盤を活用した県産飼料の生産・利用拡大などの取組を強化しています。

具体的には、乳用牛の生産性向上に向け、暑熱による影響を軽減するための細霧システム導入効果の実証や、肉用牛の分娩間隔の短縮に向け、ICTとクラウドシステムを活用した、生産者や家畜人工授精師等の連携による繁殖管理モデルの実証などに取り組むほか、県産牛肉のブランド力強化を目指し、脂肪の質や形状など牛肉のおいしさを客観的に評価する新たな基準の検討を進めています。

県産飼料の生産・利用拡大に向けては、関係機関・団体と共同で宣言した「いわて飼料生産・利用行動指針」に基づき、牧草地や飼料畑の整備、水田を活用した飼料作物の生産、耐暑性に優れた牧草品種の導入などの取組を推進しています。

また、養豚・養鶏については、豚熱や高病原性鳥インフルエンザなどの家畜伝染病の発生防止対策が重要です。本年5月の家畜伝染病予防法改正により、豚熱発生農場での「全頭殺処分」が見直され、感染拡大リスクの高い豚に限定した「選択的殺処分」が導入されました。関係者の皆様には、引き続き、適切なワクチン接種の徹底とともに、野生イノシシの侵入

(次頁へ続く)

畜産春秋

もくじ CONTENTS

畜産春秋	1	令和7年度ミルクシステム診断事業の報告	6
令和7年度岩手県獣医師畜産業績発表会(岩手県獣医師会長賞)	2	家畜の保健衛生(167)	7
令和8年度畜産特別資金等推進指導事業に係る研修会	4	畜産の研究(162)	8
令和8年度北日本養鶏研究大会	4	乳用牛群検定情報(25)	9
令和8年度畜産生産基盤育成強化事業支援指導研究会	5	畜産技術情報(116)	10
令和8年度肉用牛指導者養成研修会	5	子牛市場及び家畜市場成績	12

【「岩手の畜産」は、バックナンバーも含め協会のホームページでご覧いただけます。】

防止柵の定期的な点検や飼養衛生管理基準の遵守などをお願いします。

県内では、高病原性鳥インフルエンザが令和7年及び令和8年に連続して発生しましたが、関係機関・団体の御協力により、殺処分等の防疫措置を速やかに完了することができました。防疫作業に御協力をいただいた皆様に、改めて心から感謝申し上げます。県では、引き続き、平時から農場管理者や関係機関・団体との連絡会議を開催し、農場におけるウイルス侵入防止対策の優良事例を共有するなど、発生予防対策の強化に取り組んでいきますので、今後とも、農場内へのウイルス侵入防止対策への御協力をお願いします。

来年8月には、5年に1度の全国和牛能力共進会が北海道で開催されます。県では、県内10地域

に、関係団体と組織する「出品対策支援チーム」を設置し、生産者への個別巡回指導などを実施しているところです。「菊美翔平」をはじめ県有種雄牛の産子の全出品区での上位入賞に向け、一致団結して取り組んでいきましょう。

本県の畜産は、先人たちのたゆまぬ努力と、生産者や関係者の挑戦により築き上げられてきました。そして今日まで、多くの課題を関係者が一丸となって乗り越えてきた歴史があります。これからも、生産者の皆様を始め、畜産に携わるすべての関係機関・団体が緊密に連携し、それぞれの強みを生かしながら「攻めの一手」を着実に実践することで、岩手の畜産の持続的な発展と次代への飛躍につなげていきましょう。

令和7年度岩手県獣医畜産業績発表会

岩手県獣医師会長賞

クリプトスポリジウム症を主とする下痢症対策として牛舎消毒を実施した黒毛和種繁殖農場の2例

岩手県農業共済組合 基幹家畜診療所 遠野出張所 千葉 悠斗

1 背景

子牛のクリプトスポリジウム症は *Cryptosporidium parvum* (以下「*C.p*」という。)を病原体とし、国内にて子牛下痢症の約50%、岩手県南地域にて21%から検出された報告がある。1-3週齢前後の難治性水様下痢を特徴とし、著効を示す予防薬や治療薬は無く、治療は対症療法が行われる。主な下痢症病原体のうちロタウイルス、コロナウイルス、大腸菌については消毒法やワクチンなど有効な対策や予防法が確立されているが、*C.p*については確立されておらず、一般的に使用される消毒薬に耐性をもつため対策は困難とされている。

今回、クリプトスポリジウム症を初めて確認したA農場と、下痢症が常態化し死亡が多

発するB農場について牛舎消毒を実施し効果を検証した。

2 検証結果

(1) A農場

黒毛和種繁殖雌牛約70頭を飼養するA農場において、隣接する牛房にて1-2週齢の子牛3頭が水様便を示し、糞便から *C.p* が初めて検出された。そのため翌日、農場内 *C.p* 汚染を広げないために牛舎通路へ消石灰を散布し、検出牛房への立入制限や動線確保を指示した。さらに、オーシスト排出期間の経過した2週間後に清浄化対策として検出牛房、飼槽、通路の清掃・水洗を行った後、温水高圧洗浄機を用いて80℃・1分間以上の熱水消毒を実施し、一晩乾燥後に消石灰を散布した(図1)。

くずまき高原牧場

酪農教育ファーム認証牧場 (第0301002号)

牧場体験承っております

アイスクリーム作り体験、牛・羊の世話、乳搾り体験、羊の毛刈り体験、しいたけ採取体験



乳製品の宅配承っております



かわいい動物たちとふれあえます

(ご予約・お問い合わせ先)

くずまき交流館 プラトール

TEL. 0195-66-0555

<https://kuzumaki.jp>

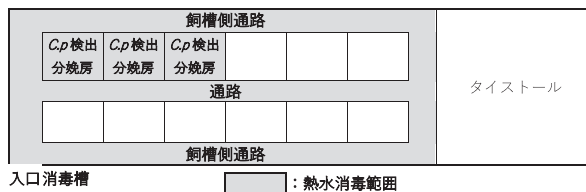


図1 A農場牛舎の模式図と消毒実施範囲

その結果、対策後2年経過するもC.p検出を認めず、清浄化できたと考えられた。発生初期では環境中C.p量が少なく、簡易な熱水消毒により清浄化が可能であると示唆された。岩手県にてクリプトスポリジウム症発生は比較的少なく、地域のC.p汚染農場増加防止のために下痢症流行時の早期診断と対策が重要と考えられた。

(2) B農場

黒毛和種繁殖雌牛約220頭を預託管理し、1-16週齢まで子牛は哺乳ロボット牛舎にて集団飼養されていた。1-4週齢前後で下痢症が常態化し、死亡が多発していた。糞便からC.pの他、ロタウイルスやコロナウイルスが検出されていた。

下痢症や死亡低減を目的に対策(1)として、1-4週齢牛房にて清掃・水洗後、温水高圧洗浄機を用いて80℃・1分間以上熱水消毒を実施し、一晚乾燥後に壁や柵などに石灰乳を塗布した。これを1か月に一度の間隔で計3回実施し、対策前後、対策後前年同時期各2.5か月間について子牛の腸炎治療頭数、回数、死亡頭数を比較し効果を検証した。

表1 対策(1)前後および対策後前年同時期の腸炎治療頭数、回数、死亡頭数

対策(1)	治療頭数	治療回数	死亡
対策前	30	177	7
対策後	33	185	3
前年同時期	29	256	5

その結果、表1が示すように下痢症を大きく低減することができなかった。C.pオーシストなど病原体の環境からの除去や、子牛と環境との感染環離断が不十分であったと考え、対策(2)として、図2のように牛群を編成しなおし、1-5週齢牛房をオールアウトした後に消毒を実施した。また消毒徹底と効率化のため

め空き牛房を設定した。消毒は対策(1)と同様に熱水消毒および石灰乳塗布を実施した。

1~5週齢 約13頭 オールアウト後消毒	1~5週齢 空き牛房 次回導入時使用	6~10週齢 約13頭	11~15週齢 約13頭
飼槽	哺乳ロボット	飼槽	飼槽

図2 対策(2)の模式図

効果の検証は対策(1)と同様に行い、さらに対策後1年以内に水様性下痢を示した子牛のうち25頭に糞便検査を実施し、C.p、ロタウイルス、コロナウイルス、大腸菌の有無および頭数を調査した。

表2 対策(2)前後および対策後前年同時期の腸炎治療頭数、回数、死亡頭数

対策(2)	治療頭数	治療回数	死亡
対策前	30	177	7
対策後	22	94	0
前年同時期	30	129	13

その結果、対策後に治療頭数と回数は減少し、死亡頭数は0頭となった(表2)。また、対策後1年以内に水様性下痢を示した子牛25頭のうち5頭からロタウイルス、6頭からコロナウイルスが検出されたが、C.pは検出されなかった。

対策(1)において不十分と考えられた病原体除去が、対策(2)では空き牛房設定により消毒徹底と効率化がなされ、病原体を大きく減少させたと考えられた。また、オールアウト後熱水消毒により新しく導入される子牛と環境との感染環離断ができたと考えられた。さらに1年間C.pの検出を認めず、清浄化できたと考えられた。

3 まとめ

C.p汚染度の低い農場では一度の熱水消毒などにより清浄化できる可能性があり、下痢症流行時の早期診断と対策が重要と考えられた。C.pに高度に汚染され下痢症が常態化している農場では、月に一度の定期消毒のみでは対策として不十分であったが、環境中の病原体除去の徹底および子牛と環境の感染環離断を意識したオールアウト後の熱水消毒と石灰乳塗布が下痢症や死亡の低減に有効であり、さらにC.p清浄化対策としても有効である可能性が考えられた。



母豚2,000頭の一貫経営

・JGAP認証農場 ・良質豚ふん堆肥の供給
・徹底した衛生管理と優良系統豚による斉一性の高い高品質豚肉の生産・供給

「みなみよ〜とん株式会社」

岩手町大字川口36-242-3
TEL. 0195-62-9087 FAX. 0195-62-9373
※精肉のご用命は岩手畜流会(食肉専門店)へ

令和8年度畜産特別資金等推進指導事業に係る研修会の開催

令和8年7月27日、畜産特別資金等岩手県支援推進協議会主催の畜産特別資金等推進指導事業に係る研修会が、滝沢市のアピオを会場に、融資機関等の指導に関わる関係者48名（Web参加の21名を含む）が出席して開催されました。

公益社団法人山形県畜産協会の総括畜産コンサルタント 菅井勇氏を講師に「山形県における畜産特別資金支援指導等の取り組み改善事例について」と題して、山形県における指導体制と協議会の役割や借入者への改善指導法等について講演していただきました。

山形県では、協議会の下にJA等金融機関、NOSAI家畜診療所、各総合支庁及び畜産協会で組織された地域濃密指導チームによる月に1回の借入者を含めた検討会を開催し、課題への取り組み状況を精査するとともに、それぞれの立場から

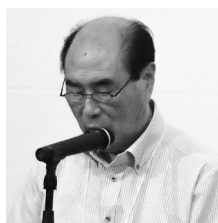


研修会での菅井講師

意見を出し合って改善指導を行っているとの説明がありました。

講演後の質疑では「取り組みにより改善していく様子を数値として共有することで借入者がやる気を感じるようになること」や、「濃密指導チーム以外にも独自の経営検討会で家計諸表から経営状況の動態を確認していること」等を知ることができ、借入者と関係機関・団体が月に1回顔を合わせて情報を共有し、信頼関係を構築することの重要性を学ぶ、有意義な研修会となりました。

令和8年度北日本養鶏研究大会



佐々木健会長

日本養鶏協会北日本地域協議会は、8月25日（火）に盛岡市を会場として、令和8年度北日本養鶏研究大会を開催し、関係者約300名が参加しました。主催者挨拶で佐々木

健会長（青森県養鶏協会会長）は「本大会と研修会は北海道・東北の養鶏関係者が一堂に集い、養鶏産業の発展を目的に開催しているもの。コロナ感染症の影響で3年間開催を見合わせたが、令和5年度に再開し、今年は盛岡市に多くの関係者を迎えることができた。」と謝意を述べ、「石油や石油由来製品不足などを背景とした物価高や飼料価格も養鶏産業に大きな影響を与えている。」また、HPAIに関しては「近年の国内外の状況を踏まえ、ワクチン接種について議論を深めるべき。」と述べました。

記念講演では最初に、「みチャオ！きいチャオ！



神山浩樹講師

場から自然災害への備えについて、東日本大震災後の調査結果などを基に、その重要性を訴えかけられました。



半澤清哉講師

次に、山形県天童市の株式会社半澤鶏卵 代表取締役経営推進室長半澤清哉氏から「卵業界に必要な“伝える力”」と題した講演が行われました。五ツ星タマリエ（卵のソムリエのことで五ツ星は3つのランクの中で最高ランク）を最年少（28歳）で取得した経過の紹介の後、「卵の賞味期限やカラザの役割、HPAI発生時の対応など、業界では常識とされる情報も消費者には十分に知られていない」とし、「業界の当たり前の中にこそ、届けるべき

動物の健康は人の健康につながる

●動物用医薬品販売の全国ネットワークを駆使し、あらゆる動物の健康維持に貢献します。

動物用医薬品・畜産用資材・器材・医療機器・医薬品

MPアグロ株式会社

本社：北海道北広島市大曲工業団地6-2-13 盛岡支店：TEL 019(638)3291
ワークショップに取組む参加者と寺内講師（左）

価値がある」と強調。X（旧ツイッター）でカラザの栄養やHPAIによる殺処分、生産コストの上昇などを発信し、大きな反響と生産者への応援を得た事例や、YouTube「通販の虎」への出演等を例に、『知っているはず』から『知ってもらう』へ変え、一人ひとりが伝える一歩を踏み出すことが、卵業界の未来につながる」と語られました。

講演の後、岩手県養鶏協会の浅沼利久理事から「安全で栄養価の高い鶏卵・鶏肉の安定生産、最

新技術の習得、感染症防止に向けた飼養衛生管理の徹底とワクチン接種に関する国への要請、適正な販売価格の消費者理解を得るためのPR、アニマルウェルフェアに配慮した飼養管理の推進」を掲げた大会宣言があり、最後に次期開催県の福島養鶏協会酒井毅会長から、福島県郡山市での大会開催についての案内・参加呼びかけで研究大会を閉じました。

令和8年度畜産生産基盤育成 強化事業支援指導研究会

令和8年9月7日、当協会の主催により、県や農業団体の担当者をメンバーとする畜産コンサルタント団員等を対象に、滝沢市内で標記研究会を開催しました。

研究会前半では、前年度に本事業で実施した経営診断指導等の概要の報告、令和8年度の実施計画（個別支援指導延べ170件、地域支援指導3回）と個別支援の指導体制や畜産コンサルタント団員の役割を説明しました。質疑応答を通じて今後の指導の在り方を確認するとともに、担当者に対し、協力を依頼しました。



久保田明人講師

講演では、近年の温暖化により牧草の生育時期が早まっており、従来と同じ時期の管理では対応が難しくなっていることから、これまでの栽培暦

その後、「暑熱に対応する飼料生産（新品種の紹介も含めて）」と題して、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構東北農業研究センターの久保田明人氏に講演をいただきました。



研究会の様子

にとらわれない、気象条件に応じた管理の重要性と対応策について説明がありました。

具体的には、夏枯れを防ぐための2番草の梅雨明け前的高刈りや、草地が荒れた場合の簡易更新方法、完全更新における草種・播種時期・播種方法の見直しのほか、オーチャードグラスでは、雑草の侵入を抑えるため、播種時期を9月下旬に遅らせる方法が紹介されました。

また、オーチャードグラスの新品種「まきばゆうか」「わせじまん」「きよは」の特徴や、冬作にイタリアンライグラスを活用する新たな牧草生産体系等についても説明がありました。

出席者からは、具体的な草地管理について質問が出されるなど、有意義な研究会となりました。

なお、本研究会は、当協会が岩手県から委託を受けて開催したものです。

令和8年度肉用牛指導者養成研修会

令和8年8月25日、令和8年度肉用牛指導者養成研修会（岩手県主催）が滝沢市内で開催されま

した。

最初に、岩手県農林水産部畜産課佐々木振興・衛生課長から「7月の和牛子牛市場の全国平均価格は最高値を記録し、高値で推移しているが、飼料や資材価格等の高止まりによる生産者の経営負担は大きく、持続可能な経営実現には経営体質の

農畜産物の「安心・安全」を未来につなぐ

小田島商事株式会社

本社 〒025-0311 花巻市卸町66番地 TEL 0198-26-4151

＜動物用医薬品・ワクチン・プレミックス・器具機材＞

花巻(営) 0198-26-4700 八戸(営) 0178-34-2284

大船渡(出) 0192-26-4740 プレミックス工場 0198-26-4726

横手・青森・古川・山形・酒田・福島・旭川・札幌・帯広・釧路

強化が重要。」との挨拶がありました。

講演では、栃木県で乳・肉牛の診療・繁殖・飼養管理までを一貫サポートする(株)寺内動物病院代表の寺内光宏氏が、農家に「安心と豊かさを届けよう」と病院を会社化した経緯や、和牛繁殖農家の経営安定に向けて実践してきた取組の紹介と、支援者の視点から、「ある農家の10年後を支える」をテーマに参加者によるワークショップを行いました。

栃木と岩手では畜産農家の立地条件は異なるものの、農家を取り巻く畜産インフラの脆弱化が進んでおり、農家が持続可能な経営の実現のために必要なことや、周囲の支援者ができることとして紹介された内容は、参加した関係機関・団体の指導者には非常に有益であったと思われます。



ワークショップに取組む参加者と寺内講師(左)

講演後には、胚移植を活用した生産性向上のポイントのほか、指導の際に心掛けることなどの質疑応答もあり、今後の指導活動に活かされるものと期待されました。

令和7年度ミルクシステム診断事業報告

令和7年度のミルクシステム診断事業は、ミルクシステム診断とバルククーラー点検を合わせて531基の実施でしたが、酪農情勢悪化等による廃業等により、6年度より38基の減少となりました。受診された皆様には、生乳の安全・安心確保のために、受診時にお伝えした改善すべき事項等について、適切な対応をお願いします。また、受診できなかった方は、定期的なメンテナンスや消耗品の交換等の実施の際に、以下に記載の主な指摘事項を参考にいただければ幸いです。

1 ミルクシステム診断

- (1) 実施基数 268基
- (2) 内訳

ア	バケットミルカー	53基(19.8%)
イ	パイプラインミルカー	205基(76.5%)
ウ	パーラー・システム診断	10基(3.7%)
- (3) 結果

ア	適合	173基(64.6%)
イ	不適合	95基(35.4%)
- (4) 主な指摘事項(複数指摘)

ア	プラント全体のエア漏れ	146基(54.5%)
---	-------------	-------------

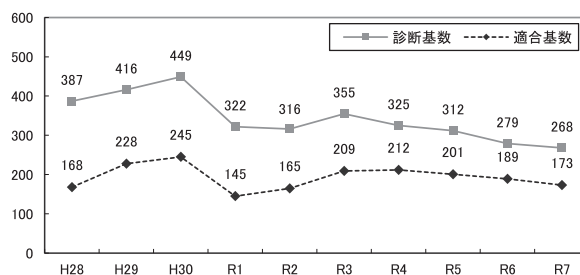


図1 ミルクシステム診断基数の推移

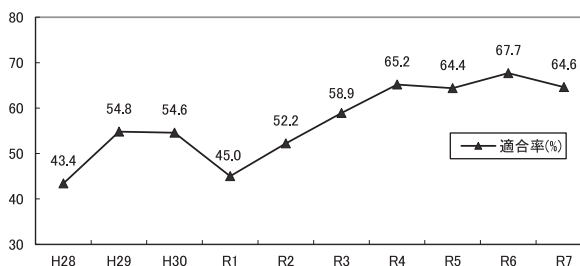


図2 10年間の適合率の推移

- | | | |
|---|---------------|-------------|
| イ | 真空ポンプ各部の汚れ | 104基(38.8%) |
| ウ | 真空ポンプの能力不足 | 76基(28.4%) |
| エ | ミルク配管・受送乳系の汚れ | 56基(20.9%) |
| オ | ドレンバルブの状態 | 48基(17.9%) |

2 バルククーラー点検

- (1) 実施基数 263基
- (2) 内訳

ア	開放型	130基(49.4%)
---	-----	-------------

●共進会用 馬・乳牛用頭絡手綱・馬衣・乳牛用新型牛衣・●牛馬手入用毛ブラシ
肉牛用牛衣
●普通乗鞍・ウエスタン鞍・ポニー用鞍等乗馬具・鞍馬具一式・畜犬具
●電気工事用革ケース・カバン・ズック製袋カバン・リュックサックバンド・安全帯
●せんてい鉄ケース他造園工具ケース類 ●その他特別御注文のカバン等承っております

創業110年品質第一手造りの店

岩手県指定店 **塩釜馬具店**

盛岡市大沢川原2丁目2の32 TEL 019-622-5393 (労働福祉会館隣)

- イ 密閉型 133基(50.6%)
- (3) 主な指摘事項(複数指摘)
- ア 冷凍機・タンク上に物が乗せられている
19基(7.2%)
- イ コックゴム・パッキン類の劣化
17基(6.5%)
- ウ ピーク乳量に対する容量適正状態
14基(5.3%)
- エ バルク蓋・マンホールパッキンの状態
13基(4.9%)

オ パイロットランプの球切れ 11基(4.2%)

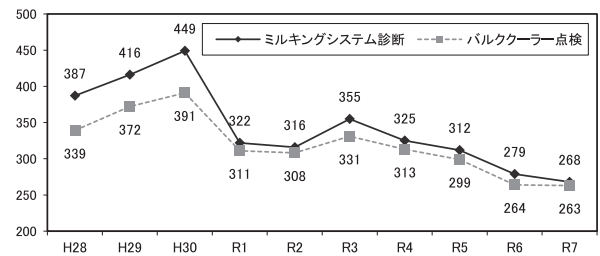


図3 10年間の点検基数の推移

家畜の保健衛生 (167)

ランピースキン病を家畜伝染病に指定 ～防疫体制を強化～

2026年5月19日、家畜伝染病予防法が改正され、ランピースキン病が届出伝染病から家畜伝染病に追加されました。今後は、発症牛の隔離及び殺処分が新たに義務付けられるなど、法的強制力のある防疫措置が講じられることとなります。

【ランピースキン病とは】

ランピースキン病は、皮膚結節(図1)、泌乳量低下等を症状とする牛の疾病で、サシバエ等の吸血昆虫が原因となるウイルスを機械的に伝播することで感染します。致死性は低いものの有効な治療はなく、皮膚の損傷、乳量低下等により深刻な経済的被害をもたらします。

アフリカ、中東の一部や南ヨーロッパで発生が確認されていましたが、2019年以降はアジアでも発生が拡大しています。国内では、2024年11月に福岡県において初めて発生が確認され、翌年1月の終息までに福岡県及び熊本県の22農場230頭が発症しました。

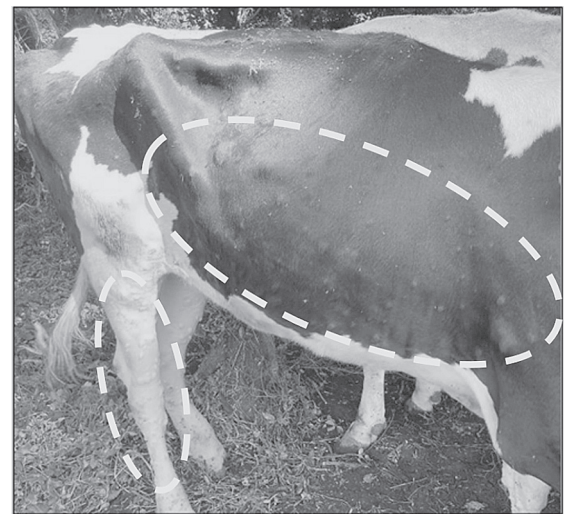


図1 発症牛の皮膚病変(原図:農林水産省)

【法改正の背景】

本病は、これまで家畜伝染病予防法上、「届出伝染病」に分類されていたことから、2024年の国内発生の際は法的強制力のある防疫措置を講ずることができず、感染拡大を防止するための措置に限界があったと考えられています。国内での発生は終息しましたが、アジアでは発生が継続しており、本病の国内への侵入リスクは依然として高いまま残っています。このような状況を踏まえ、本病は「家畜伝染病」に位置付けられました(図2)。

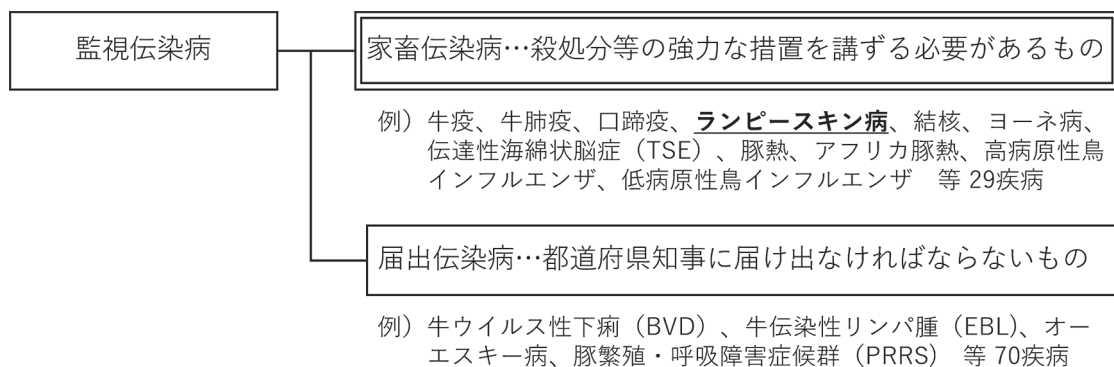


図2 家畜伝染病予防法上の分類

【改正後の対応】

本病が発生した際には、感染拡大を防止するための措置を速やかに実施する必要があります。法改正により新たに義務付けられる主な対応は次のとおりで、殺処分や移動制限による損失には法に基づく手当金が交付されます。

- 1 患畜等の隔離・殺処分
 - ・患畜の速やかな隔離
 - ・患畜の原則14日間以内の殺処分
- 2 緊急ワクチン接種
 - ・対象：発生農場及び発生農場を中心とした半径5km以内の農場の牛
 - ・必要に応じて、発生農場を中心とした半径20kmまで対象範囲を拡大
- 3 移動及び出荷の制限（ワクチン接種後21日間

経過した牛を除く）

- ・発生農場：殺処分完了から28日目より後に、臨床検査で全ての牛の陰性が確認されるまでの間
- ・周辺農場：発生農場を中心とした半径5km以内の全ての牛について、2のワクチン接種から21日間が経過するまでの間

本病は、吸血昆虫を介して感染するため、平時から農場において防虫対策を行うことが重要です。また、皮膚結節などの本病を疑う症状を確認した場合には、速やかに家畜保健衛生所へ通報するようお願いします。早期発見・早期通報が、地域の畜産業を守る上で極めて重要です。

畜産の研究 (162)**新規基幹種雄牛「勝美国」号がデビュー****1 「勝美国（かつよくに）」号**

いわて和牛改良増殖対策事業推進協議会（会長：岩手県畜産課総括課長）では、令和8年7月に、産肉性に優れる「勝美国」号を本県の基幹種雄牛として新たに選抜しました。

【勝美国（かつよくに）】

血統：菊福秀×美国桜×勝忠平×第1花国



「勝美国」号の産肉性の遺伝能力を評価する検定（現場後代検定）において、「勝美国」号の産子19頭の成績は、ロース芯面積、バラの厚さ及び歩留基準値で本県歴代1位、枝肉重量が

「菊美翔平」に次いで2位（表1）となりました。

また現場後代検定成績と県内でと畜された肥育牛の枝肉成績（表2）との比較において、去勢では、枝肉重量、ロース芯面積、バラの厚さ、皮下脂肪の厚さ、歩留基準値及び脂肪交雑の計6形質、雌では、皮下脂肪の厚さを除く5形質において、現場後代検定成績が上回りました。

産肉能力育種価（令和8年4月評価）において、6形質全てで、全国の種雄牛の平均値を上回り、枝肉重量とバラの厚さでH評価（上位1/10以上）、ロース芯面積と脂肪交雑でA評価（上位1/4以上）と優れた遺伝能力を示しました。

「勝美国」号は、枝肉重量が多く、ロース芯面積も大きく、歩留基準値の向上も期待できる産肉能力に優れた種雄牛です。

なお、種山畜産研究室で肥育した去勢牛6頭の増体量と飼料摂取量から算出した「1kg増体に要するTDN量」は7.1kgであり、直近3年間に検定を行った種雄牛候補の平均値との比較では、飼料の利用性も良好と考えられることから（表3）、飼料効率も良い種雄牛として、生産者の皆様にぜひ利用していただきたいです。

2 凍結精液の供給等

新規基幹種雄牛「勝美国」号の凍結精液は、1本当たり2,000円です。

現在、現場後代検定を行っている「万太郎」



一般社団法人 家畜改良事業団 盛岡事業所

家畜改良事業団では、牛凍結精液の他、全国的な評価が高まっている体外受精卵(IVF)、発情周期の同調鈍性発情・卵巣停止に効果を発揮するイーザーブリード、凍結精液の保存容器(MVE社製)を取り扱っております。ご利用についてのお問い合わせ・パンフレットのご請求は、盛岡事業所までお願い致します。

〒028-4134 岩手県盛岡市下田字柴沢301-5
TEL 019-683-2450 FAX 019-683-1334

表1 現場後代検定の成績

名号	枝肉重量 (kg)	ロース芯面積 (cm ²)	バラの厚さ (cm)	皮下脂肪厚 (cm)	歩留基準値	脂肪交雑 (BMSNo.)	MUFA [*] (%)
勝美国	528.7	71.6	9.2	2.7	75.8	9.4	60.6
菊美翔平	532.0	69.6	8.8	3.2	74.8	10.5	63.0

※ MUFA：一価不飽和脂肪酸（脂肪の質の評価指標の一つ）

表2 「勝美国」号の現場後代検定成績と県内でと畜された肥育牛の枝肉成績^{*}の比較

性別	名号等	枝肉重量 (kg)	ロース芯面積 (cm ²)	バラの厚さ (cm)	皮下脂肪厚 (cm)	歩留基準値	脂肪交雑 (BMSNo.)
去勢	勝美国	549.1	72.5	9.4	2.2	76.2	9.8
	県内と畜牛	521.0	68.0	8.4	2.3	75.3	8.7
雌	勝美国	506.0	70.7	8.8	3.2	75.3	8.9
	県内と畜牛	448.2	65.6	7.9	2.7	75.2	8.5

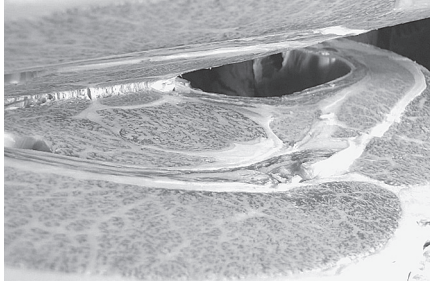
※ 令和4年4月から令和7年3月の期間

表3 「勝美国」号の飼料効率

	1 kg増体に要する TDN 量 (kg)
勝美国	7.10
種雄牛候補牛 [*]	7.35

※ 直近3年間の種雄牛候補牛の平均値

【写真】「勝美国」号の調査牛の枝肉断面

	枝肉重量	535.0kg
	ロース芯面積	76.0cm ²
	バラの厚さ	9.9cm
	皮下脂肪の厚さ	1.7cm
	歩留基準値	77.6
	BMSNo.	11
	母の父	美国桜
	母方祖母の父	百合茂

号、「百合白福」号、「勝乃富士」号、「星乃東豊」号、「絆」号及び「菊百合久」号の凍結精液は、1本当たり1,000円で先行販売しています。

凍結精液のご注文は、一般社団法人岩手県畜産協会あてにお申込みください。

今後も、農林水産部公式SNSやいわて畜産振興ネット（Facebook）による情報発信のほか、和牛専門誌への県有種雄牛の広告掲載等、県有種雄牛の利用拡大に向けた活動に取り組んでいきます。

乳用牛群検定情報 (25)

一般社団法人家畜改良事業団

～サイレージの開封(口切り)～

実りの秋です。収穫したトウモロコシ、牧草、イネといった各種サイレージも口切りが待ち遠しい時期です。さて、今年の出来栄はいかがでしょう？ さっそく、サイレージ品質を確認しましょう。

1 Vスコア

サイレージは通常Vスコアの検査を行い、以下のように判断して使用します。Vスコアは牛群検定項目ではありませんが、検査をご希望の方は、お近くの普及センター等にご相談ください。

80以上：良質

60～79：注意しながら使用

59以下：不良

2 牛群検定成績

Vスコアは科学的に裏付けられた指標ですが、サンプリングの位置（上部、下部、中央、端など）で大きく値が変わることも知られています。

○草地造成地用に

草刈 リン 刈
草地484号 14-28-14

○苦土の補給に

草刈 リン 刈 外
草地211号 20-10-10-5

○カリ過剰対策に

草刈 リン 刈 外
草地NP260号 12-6-0-9

草地NP420号 24-12-0-7

豊かな大地を育む
くみあい肥料株式会社

〒025-0312 花巻市二枚橋第5地割146番地 TEL0198-26-3313 FAX0198-26-3316

また、検査したときは「良質」でも、使用しているうちに「不良」部分がたくさんあったということも珍しくありません。そこで、実際に乳牛に給与した後に牛群検定成績からサイレージの品質を再検討することが推奨されます。

(1) BHB (β-ヒドロキシ酪酸)

Vスコアが「不良」となったサイレージは酪酸発酵していることが考えられます。こういったサイレージを乳牛に与えてしまうと、BHBが牛群全体で高くなってしまいます。乳牛の個体で0.13mmol/L以上はケトosisが疑われるレベルですが、牛群全体で高めの場合はサイレージ品質の再検査といった対応が必要になり、大量にサイレージがある場合には、「良質のものと混ぜ合わせる」などの工夫も可能です。

(2) MUN (乳中尿素態窒素)

「不良」サイレージは酪酸発酵と同時に、蛋白質分解によりアンモニア量が増えることも知られています。このようなサイレージを乳牛に与えてしまうと、大量のアンモニアの無毒化が牛体で行われMUNが増加します。牛群全体で14mg/dl以上となる場合は、アンモニア過多が疑われますので、サイレージ品質の再検査等が必要です。この場合は、前述のように良質サイレージと混ぜ合わせることも有効ですが、「糖蜜などのエネルギー飼料を添加すると、改善する場合がある」ことが知られています。

(3) 乳量、ボディーコンディション

「不良」サイレージは、栄養価自体が低

いこともあります。嗜好性が悪く、乳牛の食い込みが悪くなります。そのため、牛が消瘦し、乳量も減少することも知られています。前述のBHBの検査でケトosisと判定される場合もありますが、飼料をサイレージに切り替えた後に、検定成績表の検定日乳量に乳量減少を示す▽▼が並び、ボディーコンディション管理の値が低下している場合は要注意です。

(4) 乳成分

多くの検定牛乳成分のミニグラフの棒が振り切れるかのように、乳脂率と乳蛋白質率の両方が高い値となった場合、やはりサイレージが「不良」であり、酪酸発酵していることが考えられますのでご注意ください。乳質が向上したと喜ぶことは禁物です。牛が消瘦したため体脂肪分解され乳脂率が高くなってしまっています。また、アンモニア過多等のため蛋白質率も高くなります。

酪酸発酵したサイレージを給与した
典型的な検定成績表(成績表2枚目)

牛 コード	分 娩 時 期				乳 乾 乳 日 数	乳 脂 率 (%)		蛋 白 質 率 (%)		P/F 比
	年 月 日	産 次	産 子 性 別	體 重 kg		前 月	今 月	前 月	今 月	
0651	260911	1	♂	2	83	▼3.69	4.38	3.02	3.17	069
0585	260907	3	♀	1	87	5.44	▼4.90	3.08	3.04	063
0650	260906	1	♀	2	88	4.78	5.45	3.22	3.15	059
0619	260904	2	♂	1	90	▼4.15	3.90	2.99	3.00	077
0649	260903	1	♀	2	91	3.58	3.82	3.20	3.00	084
0625	260809	2	♂	1	116	▼4.64	4.98	3.36	3.28	068
0623	260803	2	♂	1	122	3.74	5.03	3.17	3.23	063
0579	260729	3	♀	1	127	▼4.22	4.39	2.87	2.92	065
0645	260702	1	♀	1	154	3.85	4.82	3.13	3.17	065
0594	260630	2	♀	2	156	5.47	5.04	3.33	3.39	066
0610	260310	2	♀	1	268	▼4.22	5.14	3.69	3.73	072
0609	260303	2	♀	1	275	4.93	5.48	3.57	3.69	065
0611	260303	2	♀	1	275	▼3.94	4.37	3.82	3.89	087
0640	260302	1	♀	2	276	3.58	4.18	3.63	3.73	087
0639	260215	1	♀	1	291	5.87	5.46	3.71	3.75	068
0606	260201	2	♀	2	305	4.75	3.99			084
0527	260131	4	♀	1	306	4.03	3.83	3.61	3.66	094
0501	260114	5	♂	2	323	5.34	5.59	3.57	3.72	064

畜産技術情報(116)

オーチャードグラスの効果的な秋作業の検討

イネ科牧草の収量は、茎数と茎の重さで決まります。オーチャードグラスは秋に多くの分けつが発生し、翌春の出穂茎数を増やします。茎には、出穂する茎としない茎がありますが、1番草で出穂する茎の重さを増やすには早春の施肥が効果的です。

1番草の分けつを増やすには、越冬前に十分な窒素を施肥し茎基に貯蔵させる(秋施肥の時期と「刈取危険帯」に刈取を行わない)管理が重要とされています。

これらを踏まえ、今回は、近年の気温から秋の管理作業時期について考察します。

鳥うまい!!!

新鮮 安心 ヘルシー
岩手県産チキン!!

岩手県チキン協同組合

岩手県盛岡市盛岡駅前北通6-47

TEL 019-624-2870 FAX 019-625-0486

1 オーチャードグラスの管理に関する項目

オーチャードグラスの栄養生理と管理に関する研究データから、以下の項目について、岩手県内の気象データにあてはめてみました。

- ・限界日長（日の出から日の入りまでの長さ）が13時間 ⇒ 花成誘導
- ・生育停止（以下、「A」とする）：平均気温5℃未満 ⇒ 越冬
- ・刈取危険帯（以下、「B」とする）：Aから30日前・単純積算温度270℃遡る頃
：越冬のための養分を茎基に貯蔵する期間のため、刈取・施肥を避ける
- ・秋施肥適期（以下、「C」とする）：Aから単純積算温度730℃遡る頃
：茎基や根の重量と炭水化物率を増やすために最適な施肥時期

2 盛岡の平年値の気温とオーチャードグラスの管理

アメダスデータ盛岡の平年値では、Aは11月の第5半句以降です。Bは10月第5半句で、「Aから遡って30日前」、「積算気温270℃」のどちらにもあてはまります。Cは9月第4～5半句となり、Aから遡って65日前頃になります（図1）。

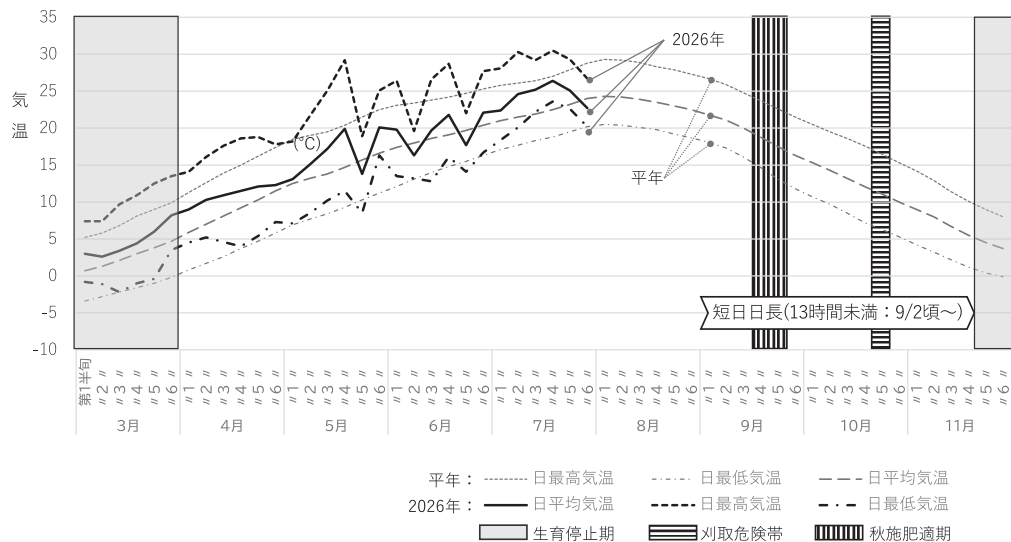


図1 気温の推移とオーチャードグラスの管理（盛岡：平年および2026年）

3 県内各地の近年の気温とオーチャードグラスの管理

アメダスデータ2023～2025年の県内気温から管理に関する項目を見ると、Aは、奥中山で10月第5～11月第2半句と年によって変動があるものの、久慈では11月第2～3半句、岩泉、盛岡、北上、住田、一関では11月第3～4半句となっています。

「B：積算温度270℃遡る頃」を計算してみると、奥中山では「Aから30日前」があてはまりますが、それ以外の地域では平年値に比べて半句のずれが生じており、「Aから25日程度遡った頃」になります。

「C：積算温度730℃遡る頃」を

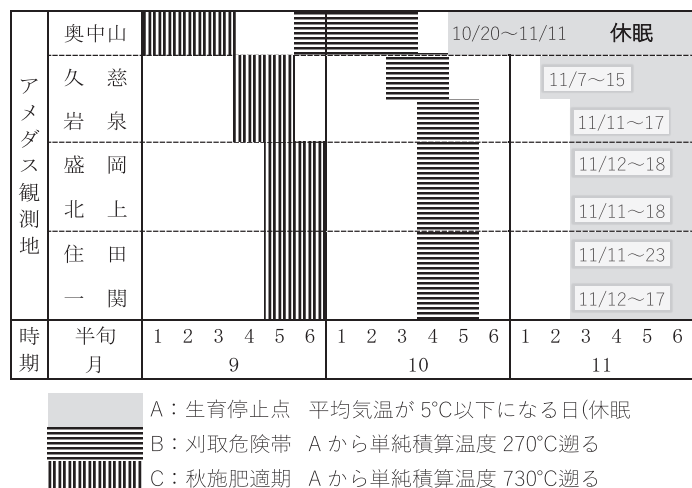


図2 アメダスデータ(2023～2025年)に基づく地域別オーチャードグラスの管理

計算すると、奥中山では9月第1～3半旬、久慈、岩泉では9月第4～5半旬、それ以外の地域では9月第5～6半旬となっています(図2)。

盛岡の平年値と近年の気温を比較すると、Aは2半旬(10日程度)早まり、Bは「Aから遡って25日頃」と5日短縮され、Cは「Aから遡って50日頃」となり平年値より15日短縮されています。これは、近年、9～10月の気温が高いため、日数が短くても積算気温が増加するためです。

一方、「9～10月の気温が高い」と思っている、オーチャードグラスが休眠する寒さ(平均気温5℃)になる日は早まっており、11月中旬には到来します。9月末には秋施肥を行って養分貯蔵と新分げつの増加を促し、10月中下旬には刈取や施肥をしない作業日程の検討が必要と思われます。

県内黒毛和種子牛市場成績

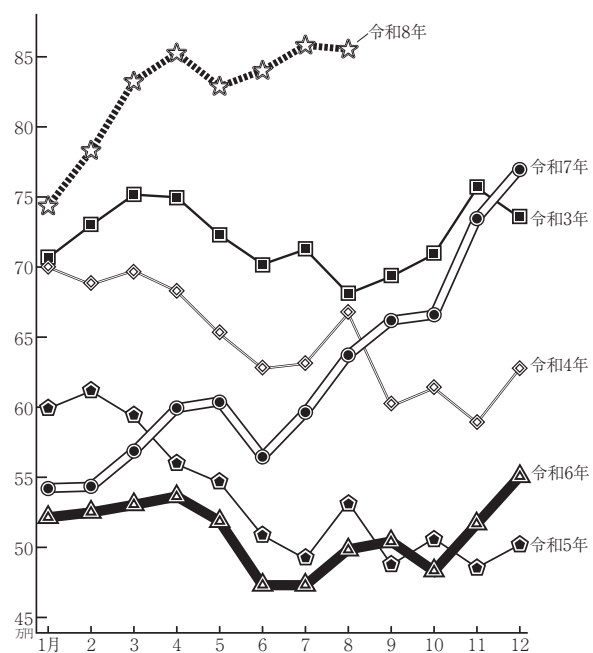
(全農岩手県本部)

市場区分	性別	令和8年7月			令和8年8月		
		売買頭数	平均価格	平均体重	売買頭数	平均価格	平均体重
県南※ 胆江・気仙 磐井	雌	184	775,608	294	151	780,272	296
	雄						
	去勢	209	912,621	337	203	896,419	332
	計	393	848,472	317	354	846,876	317
中央初日 宮古・北部 奥中山・久慈	雌	138	805,391	290	132	816,558	293
	雄						
	去勢	171	909,649	322	175	900,894	321
	計	309	863,087	308	307	864,632	309
中央2日目 滝沢・雫石 八幡平・玉山 岩手・葛巻	雌	155	817,697	287	139	808,840	284
	雄						
	去勢	148	910,503	317	138	907,787	322
	計	303	863,028	302	277	858,135	303
中央3日目 紫波・盛岡 花巻・北上 遠野	雌	93	816,188	295	109	789,901	291
	雄						
	去勢	129	914,236	323	137	913,466	323
	計	222	873,162	311	246	858,715	309
合 計	雌	570	800,885	291	531	798,747	291
	雄						
	去勢	657	911,687	326	653	903,597	325
	計	1,227	860,214	310	1,184	856,574	310

※県南市場は令和8年4月より1日開催

※価格は円(税込み)、体重はkg

子牛価格の推移



県内家畜市場における指定肉用子牛取引実績

公益社団法人岩手県農畜産物価格安定基金協会

区 分	令和8年7月		令和8年8月	
	頭 数	平均価格	頭 数	平均価格
黒毛和種	1,047頭	849,867円	1,036頭	844,311円
褐毛和種	—	—	—	—
日本短角種	—	—	—	—
ホルスタイン種 (雌を除く)	1頭	396,000円	1頭	444,400円
交雑種・乳	—	—	—	—

※ 指定肉用子牛とは、肉用子牛生産者補給金制度における、平均売買価格算定の対象となる牛(区分ごとに体重の範囲が定められている。)

※ 平均価格は消費税込み

(公社)中央畜産会からのお知らせ

畜産映像情報

がんばる!畜産!9

畜産現場の“今”を30分の番組にしました!
映像を各種研修会、セミナーにご活用ください!
配信内容: ヨーロッパアルプス酪農のカとチーズ街道、オーストリア・ブレンテンツァーヴァルト/日本畜産学会100周年 第132回大会総集編/ 国際養豚養鶏総合展2024 総集編 ほか

(公社)中央畜産会 経営支援部(情報) TEL03-6206-0846

スマートフォンからはこちら
パソコンからはこちらで検索

がんばる畜産